

政策

H27 主な施策・事業

重要業績評価指標 (KPI) 状況

今後の取組方針

1 次世代に向けた産業基盤の構築

- ・東京電力との共同による「やまなしパワー」創設、申請受付
- ・工業団地適地調査及びスマート化実現可能性調査実施
- ・農地中間管理事業への支援、農業生産基盤の整備
- ・起業家支援融資の拡充(融資限度額の拡大等)
- ・新事業応援ファンドによる投資
- ・農業の法人化促進のための研修会の開催
- ・獣害防止柵の整備
- ・管理捕獲の推進、わな捕獲の促進強化
- ・間伐等の森林整備・保全への支援

市場の変化に対応できる事業体の構築や持続可能な強い産業をつくるため、次世代に向けた農林業・商工業等の産業基盤の整備を進めていく。

設定 KPI	9
--------	---

進捗率20%以上	5	・担い手への農地集積率 ・起業家支援融資件数 ・多面的機能支払交付金による取組面積 ・獣害防止柵の整備による被害防止面積 ・森林整備の実施面積
進捗率20%未満	4	・安価な電力の供給量 ・果樹産地等における基盤整備面積 ・ファンド活用による起業数 ・農業生産法人数

「やまなしパワー」による県内企業等への安価な電力供給、スマート工業団地の整備、農地の集積・集約化の一層の推進、森林資源の多面的な利活用推進などにより、持続可能な産業基盤の形成を図る。

ワンストップ相談機能の充実やハンズオン支援などによる事業者の支援、セミナーの開催、金融支援などを通じた起業・創業の促進、企業の農業参入の促進などにより、市場変化に対応できる事業者の育成を図る。

農業・農村や森林の有する多面的機能の維持・発展の取組及び野生鳥獣被害防止の取組を推進することにより、健全で豊かな農山村の形成を図る。

2 揺るぎない経営力の確立

- ・商工業振興資金の貸付及び設備貸与の推進
- ・特用林産物の産地化推進 ・「農援隊」による相談業務の実施
- ・ジュエリー、ワイン、織物等地場産品やぶどう、もも等の農産物などやまなしブランド確立に向けた総合的な取組
- ・新たなやまなしブランド(果樹オリジナル品種、認証農産物、県産魚、薬用植物等)の開発・育成の取組
- ・第2期ワイン産地確立推進計画の策定
- ・やまなし「水」ブランド戦略の策定
- ・国内外におけるトップセールスの実施
- ・農業生産法人等の販路拡大に向けた取組支援
- ・県産FSC認証材製品PR活動の実施

経営基盤を安定させるため、特色あるやまなしブランドの構築などにより、戦略的な販路の開拓及び拡大を促し、揺るぎない経営力を確立していく。

設定 KPI	10
--------	----

進捗率20%以上	5	・中小企業への設備貸与件数 ・特用林産物生産への新たな取組件数 ・日本ワインの県内製成数量 ・新たな薬用植物の生産取組件数 ・県産果実の輸出額
進捗率20%未満	4	・果樹オリジナル品種の生産量 ・新たなブランド魚の開発 ・認証農産物(果樹・野菜)の出荷割合 ・県産FSC認証材販売量
実績値未確定	1	・木材生産量

金融機関や支援機関と連携した金融・事業支援、新市場開拓や事業多角化の支援、農林業における経営基盤の強化支援などにより、事業者の持続可能な経営実現を図る。

ジュエリー、ワイン、織物等地場産品やぶどう、もも等の農産物などの高品質化や高付加価値化、効率的な情報発信等に加え、新たなブランドの掘掘・育成も進め、特色ある「やまなしブランド」の構築を推進する。

アジア市場を中心にトップセールスをはじめとしたプロモーション活動の強化、東京五輪等の好機を捉えた県産品の情報発信など効果的・戦略的なマーケティングを推進する。

3 成長を推し進めるステージへの飛躍

- ・セミナーや講座の開催、産学官連携推進アドバイザーによる企業の支援など燃料電池関連産業への進出促進
- ・講座の開催、事業化支援アドバイザーによる技術指導など医療機器産業等成長産業への進出促進
- ・「やまなし6次産業化サポートセンター」設置、活動支援
- ・やまなし陸上養殖協議会の開催
- ・プロフェッショナル人材確保・活用に向けた取組
- ・特許流通コーディネーターの配置、知的財産を活用した経営の促進
- ・木質バイオマスの利活用の推進

個性豊かな地域産業が将来にわたり維持・発展するため、6次産業化による新たな特産品の開発や資源の循環利用を推進するとともに、絶え間ないイノベーションにより、競争力のある地域産業への成長を促すことで、安定した雇用の場を確保していく。

設定 KPI	6
--------	---

進捗率20%以上	4	・新産業・成長分野進出に向けた支援企業数 ・医療機器産業への新規雇用者数 ・農業の6次産業化に新規に取組む経営体数 ・木質バイオマス利用施設数
進捗率20%未満	2	・陸上養殖を活用した新たな開発品目数 ・開放特許の新規使用許諾件数

産学官金の連携などにより、燃料電池関連産業や医療機器産業などの新産業・成長産業への進出を促進する。

産学官連携や産学官連携を進め、農業の6次産業化や新たな特産品開発などを推進し、事業者の新市場への参入を促進する。

事業者の知的財産活用に向けた取組や未利用地域資源を活用した取組などを支援し、新たな事業展開の促進を図る。

基本目標

5年間で、3,000人の雇用の場の確保を目指す

H27実績

837人

統計的に毎年の数値の把握が可能な「企業立地に伴う新規雇用者数」などを合計した数

進捗率

27.9%

KPI計

設定 KPI	25
進捗率20%以上	14
進捗率20%未満	10
実績値未確定	1

政策

H27 主な施策・事業

重要業績評価指標 (KPI) 状況

今後の取組方針

1 未来を拓く
子どもの育成

社会的に自立する力を身につけ地域で活躍する人材を育成するため、幼少期から郷土愛を育む機会を充実させ、ふるさと山梨への誇りと愛着を醸成していくとともに、小・中・高におけるキャリア教育を推進し、考える力を養う。

2 地域を支える
若者の育成

地域を支える若者を育成するため、大学生等に対して地域課題の解決など地域貢献ができる実践力を養成していくとともに、産学官金の連携強化やカリキュラムの充実等を図り、地域産業を担う高度な専門的職業人材を育成することにより、若者の地元定着を図っていく。

3 活力あるキャリア
人材の育成

活力あるキャリア人材を育成するため、本県経済を支えるものづくり分野をはじめ、成長が期待される農業、林業、人材不足である医療・福祉・介護分野において、専門的な人材の確保や働きやすい職場環境づくりを進め、県内への定着を促進していく。

- ・本県独自の学力調査結果に基づく学習内容や指導方法の改善
- ・教員の資質向上の取組、少人数学級編制に応じた教職員の配置
- ・学校と家庭、地域が連携した取組の推進
- ・郷土学習、郷土愛を育む機会の充実
- ・県立文化施設4館における教育普及事業の実施
- ・いじめや不登校に対する面接相談や電話相談の実施
- ・体力づくりの実施、身体を動かす運動体験の増加の推進
- ・小・中・高が連携したキャリア教育の推進
- ・甲府工業高等学校への専攻科設置を決定
- ・英語教育強化地域拠点事業の推進 ・高校生等の海外留学促進
- ・公立・私立高等学校奨学金給付金の給付、特別支援学校児童生徒就学奨励費の支給

- ・COC+事業への支援 ・高校生の企業現場への実習参加促進
- ・産学官連携人材確保・育成推進会議の開催
- ・県内大学における山梨観光カレッジの実施
- ・県内中小企業の情報発信強化、合同就職説明会の開催
- ・山梨県ものづくり人材就業支援基金の創設

- ・成長分野産業における就業体験の実施
- ・やまなし匠の技・伝承塾の開催

- ・就農マネージャーの設置、就農相談会等の開催
- ・リターンや退職者等に対する職業訓練、就農支援の実施

- ・林業従事者の技術向上支援 ・林業労働者の労働環境の改善

- ・医師・看護師修学資金の貸与
- ・看護師の就業支援(就業継続)のための研修会の開催

- ・福祉・介護キャリア支援専門員の設置、就業支援
- ・人事管理セミナーによる福祉・介護従事者の定着支援

- ・地域景観リーダー育成研修会の実施
- ・若者による中心市街地活性化の企画立案と事業実施

設定 KPI 7	進捗率20%以上	2	・公立小中学校で認知したいじめの解消率 ・工業系高校2・3年生の技能検定等国家資格取得の延べ人数割合
	進捗率20%未満	4	・全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較割合(小中学校) ・県立文化施設4館の教育普及事業参加人員 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における児童の体力合計点 ・海外研修や留学等への参加人数
	その他 (H31目標値が数値でない指標)	1	・奨学金給付金等全対象世帯への支給の継続

設定 KPI 2	進捗率20%未満	2	・観光カレッジ修了者数 ・県内大学等卒業生の県内就職率
----------------	----------	---	--------------------------------

設定 KPI 7	進捗率20%以上	4	・新規就農者数 ・医師数 ・景観リーダーの新規育成 ・地域で活躍する若者リーダーの育成
	進捗率20%未満	3	・林業への新規就業者数 ・職業体験を受けた者のうち、就業体験先での直接雇用者 ・県内の介護施設等に従事する介護職員数

引き続き調査研究を重ね、授業の改善と教員の資質向上を一層進めるとともに、地域や家庭と連携して家庭学習の定着などに向けた取組を強化するなど、学校と家庭、地域が連携した取組を推進し、総合力としての学力向上を目指す。

郷土愛を育む取組やキャリア教育を一層充実し、将来山梨で活躍する人材の育成を図る。

いじめ・不登校問題等への対応体制の強化を図るとともに、子どもの体力向上に向けた取組を進め、心身ともに健やかな人材の育成を図る。

英語教育の強化、海外留学の支援などを通じて、グローバル人材の育成を推進する。

家庭の経済的負担の軽減を図り、誰もが就学できるように支援を行う。

産学官が連携し、地域産業への人材供給力を充実する取組を進めるとともに、県立大学の一層の充実を図り、地域が求める人材の育成及び県内大学等の卒業生の県内定着に向けた取組を強化する。

卒業生等就職希望学生の就職支援を充実するとともに、新規就職者の早期離職防止を図り、学生の県内企業への定着を進める。

産業界のニーズを踏まえ、ものづくり産業を担う人材育成に向けた取組を強化する。

就農相談や就農啓発を強化するとともに、財政面や技術習得面での支援など就農定着策を充実し、農業の担い手確保の取組を強化する。また、林業従事者の定着支援に向けた取組を充実し、林業の担い手確保を図る。

修学資金の貸与、医師のキャリア形成支援、医師不足病院の医師確保支援、未就業の看護職員の県内就業などの取組を進め、医師・看護職員の確保・定着及び地域・診療科偏在解消を図る。

福祉・介護の仕事の魅力のPRとともに、就業支援や職場環境改善を進め、福祉・介護人材の確保・定着を促進する。

おもてなし人材の育成を進めるとともに、地方創生を推進し、地域に活力を与える人材の育成を図る。

基本目標

2014年(14,593人)を基準として、転出者数1割減少を目指す

KPI計

設定 KPI 16	進捗率20%以上	6
	進捗率20%未満	9
	その他	1

H27 実績	15,135人 (H26比:3.7%増)	進捗率	37.1%
-----------	----------------------	-----	-------

政策

H27 主な施策・事業

重要業績評価指標 (KPI) 状況

今後の取組方針

1 来訪者を拡大する魅力あるやまなしの振興

山梨ファンを拡大していくため、山梨ならではのおもてなしや世界遺産富士山をはじめとする魅力ある観光資源を国内外に広く発信するとともに、滞在につながる周遊観光を推進することなどにより、本県を訪れる旅行者を増やしていく。

- ・「富士の国やまなし館」での県産品の展示販売及び情報発信
- ・ハローキティを活用したプロモーションの実施
- ・世界遺産富士山の構成資産である文化財の適切な保存管理
- ・山梨県立富士山世界遺産センターの整備
- ・世界農業遺産認定に向けた取組 ・クニマス展示施設の整備
- ・山梨 山のグレーディングの作成、公表
- ・県内各地の文化財等を周遊するためのハンドブックの作成
- ・峡東地域ワインリゾート構想の策定と推進
- ・旅行事業者に対する観光スポット視察、体験及び商談会の開催
- ・外国人観光客向けスマートフォンアプリの構築・運用
- ・県内観光資源パンフレットを多言語で作成

設定 KPI	8
--------	---

進捗率20%以上	5	・富士の国やまなし館における情報提供件数 ・富士の国やまなし館における県産品売上額 ・観光入込客数(実人数) ・延べ宿泊者数 ・外国人延べ宿泊者数
進捗率20%未満	1	・山梨百名山登頂記念状(証明書)発行数
実績値未確定	2	・富士山世界遺産センター(H26開館)の観光客数 ・クニマス展示施設(H26開館)の入館者数

県内の個別のブランド産品等との連携を図りながら、「やまなしブランド」のPRを強化し、本県の魅力を発信し、山梨ファンを増やす取組を進める。

富士山世界遺産センターでの情報発信を通じて世界遺産富士山の文化的価値への理解の促進を図るとともに、同センターを構成資産や地域の資源との連携の拠点とし、周遊観光にもつなげていく。

世界農業遺産認定やユネスコエコパーク登録に向けた取組など自然環境を生かした観光や本県の歴史・文化に根ざした文化財等の地域資源を生かした観光を推進する。

各地域において地域資源を連携させたツーリズムを展開し、滞在につながる周遊観光を促進する。

おもてなしの向上やICTを活用した利便性向上、通訳案内士の育成、案内表示などの多言語化などの取組を総合的に進め、外国人観光客の受入環境の整備・充実を図る。

2 移住希望者への総合的な支援

山梨ファンを移住・定住につなげるため、積極的な移住情報の発信や都市農村交流等によるやまなし暮らしの体験、空き家の活用など、移住支援を総合的に展開していく。

- ・やまなし暮らし支援センター移住相談員の増員
- ・移住相談会の開催、移住プロモーション動画の作成
- ・田舎体験受入セミナーの開催
- ・都市農村交流ホームページの作成
- ・市町村(空き家バンク)への支援制度の整備
- ・サテライトオフィスを整備する市町村への支援
- ・Uターン長期インターンシップ及び就職フェアの実施
- ・県内企業職場見学ツアーの実施
- ・中間支援組織等の発掘、育成を目的とした研修会の開催

設定 KPI	6
--------	---

進捗率20%以上	1	・中間支援組織団体育成数
進捗率20%未満	5	・やまなし暮らし支援センターを通じた移住者数 ・田舎体験受入団体数 ・都市農村交流HPのアクセス数 ・空き家バンク活用件数 ・県出身学生等のUターン就職率

雑誌、SNS等の媒体の活用及び各種イベント等の出展を通して、移住先としての本県の魅力を積極的に発信するとともに、やまなし暮らし支援センターと庁内各部署及び市町村との連携の一層の強化を図る。

若年世代や子育て世代を中心に、農村での暮らしや自然体験等の機会を提供し、「やまなし暮らし」の魅力を伝え、都市農村交流を推進する。

空き家バンクを実施する市町村を支援するとともに、空き家を活用したサテライトオフィスの整備を支援し、県外のIT企業等の誘致を図り、移住と企業進出を促す。

首都圏に在学する学生等に対して、大学訪問等を通じて県内企業等の情報提供を積極的に行うなど、Uターン促進に向けた取組を強化する。

3 企業等の誘致による力強い経済の構築

大都市からの新たな人の流れを生み出すため、東京圏に近い本県の立地の優位性等を生かし、積極的に企業等の誘致を推進し、県内経済の活性化を図っていく。

- ・山梨県の魅力及び企業立地への支援制度のPR強化
- ・企業訪問による情報収集の強化
- ・情報通信関連企業の立地促進
- ・企業立地ニーズ調査の実地・結果の分析
- ・物流施設誘致連絡会議の開催
- ・政府関係機関の移転候補機関を選定し、国へ提案

設定 KPI	4
--------	---

進捗率20%以上	2	・企業立地件数 ・新規情報通信関連企業立地件数
進捗率20%未満	2	・企業立地に伴う新規雇用者数 ・政府関係機関の本県への移転の実現

本県の魅力と充実した支援制度の情報発信を強化し、県外企業の誘致、本社機能の移転や事務所・研究開発等の拡充を推進する。

基本目標

2014年(12,029人)を基準として、転入者数1割増加を目指す

KPI計

設定 KPI	18
進捗率20%以上	8
進捗率20%未満	8
実績値未確定	2

H27 実績

12,582人(H26比:4.6%増)

進捗率

46.0%

政策

H27 主な施策・事業

重要業績評価指標 (KPI) 状況

今後の取組方針

1 安心して結婚・出産できる環境の充実

若者の結婚に対する希望をかなえ、婚姻数の増加につなげるため、多様な出会いの機会を提供するとともに、社会全体で結婚を応援する気運を醸成していく。また、健やかな妊娠・出産のため、不妊症対策や産前産後の包括的支援等により、安心して出産ができる環境を充実させていく。

2 きめ細やかな子育て環境の充実

子育てに関する不安や悩みを解消するため、子育て家庭への支援の強化や多様な保育ニーズに対応できる環境を整備するなど、きめ細やかな子育て支援の充実を図り、少子化の流れに歯止めをかけていく。

3 仕事と生活が調和する社会の実現

仕事と生活が調和する社会を実現するため、子育てに対する企業や男性の意識改革、女性が働きやすい環境づくりを推進し、子育てにやさしい環境を官民一体となつて構築していく。

- ・やまなし出会いサポートセンターの運営
- ・やまなし縁結びサポーターの情報交換会や研修会の開催

- ・特定不妊治療費、不育症治療費、男性不妊治療費の助成
- ・産前産後ケアセンターの整備、開所
- ・産前産後における24時間対応の電話相談の実施
- ・産前産後ケアに関する保健・医療関係者向け研修会の開催
- ・市町村母子保健従事者研修会の実施

- ・子育てハンドブック等の作成・活用、インターネットによる出産や子育て関連情報の提供
- ・子育て相談総合窓口の運営

- ・地域子育て支援拠点の設置促進
- ・県立大学、各教育事務所と連携した子育て支援講座の開催

- ・小児初期救急医療センターの運営への助成
- ・小児慢性特定疾病医療の助成

- ・延長保育、病児保育を実施する市町村への助成
- ・放課後児童クラブの設置、運営への支援

- ・国家資格等を取得するための養成機関での修業の支援
- ・母子・父子自立支援員による情報提供、相談・支援

- ・企業トップセミナーの開催
- ・企業が策定する一般事業主行動計画への支援
- ・育休復帰、多様な働き方制度の導入による奨励金の支給

- ・男性の意識改革を進める周知・啓発の実施
- ・父親を考えるフォーラムの開催

- ・働く女性を対象にした講演会や意見交換会等の開催
- ・若年者や子育て中の母親等の就労支援
- ・女性の再就職を支援する訓練の実施

設定 KPI	進捗率20%以上	3	・やまなし縁結びサポーター団体数 ・やまなし出会いサポートセンターの登録会員数 ・産前産後ケアセンター利用者の満足度
3			

設定 KPI	進捗率20%以上	5	・地域子育て支援拠点施設の設置箇所数 ・乳幼児健康診査の未受診率(3歳児) ・病児保育の実施箇所数 ・延長保育の実施箇所数 ・放課後児童クラブの設置箇所数
8	進捗率20%未満	2	・子育て世代の相談窓口周知度 ・母子・父子自立支援員による自立支援相談件数
	その他 (H31目標値が数値でない指標)	1	・保育所等の待機児童数ゼロの維持

設定 KPI	進捗率20%以上	1	・ジョブカフェやまなし及び子育て就労支援センターによる女性や若年者の就職者数
3	進捗率20%未満	2	・働きやすい職場環境を整備した企業数 ・父親を考えるフォーラムへの父親参加率

やまなし出会いサポートセンターの運営により、結婚を希望する若者に出会いの機会を提供するとともに、婚活イベント情報などの結婚支援事業のきめ細かな周知を図り、県民や企業、市町村等が連携することにより、社会全体で若者の結婚を応援する環境を整備する。

若い世代が健やかに妊娠・出産できるよう、各種検診・検査や健康づくり対策、不妊治療や不育治療に対する支援の充実を図るとともに、産前産後ケアセンターを活用した産後の母親支援などの産前産後の母親の不安や悩みを軽減する取組の強化に努める。

安心して子育てができる環境を整備するため、子育て家庭に必要な情報の提供や子育て相談における関係機関との連携強化、子育て講座の開催等の充実を図る。

第2子以降の保育料無料化などの経済的支援や妊娠期から子育て期までの総合的相談支援を行うワンストップ拠点の整備など安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、子育て支援団体のネットワーク強化や子育て支援人材の確保・育成を図る。

小児救急医療体制の確保や慢性的な疾病をかかえる児童等の支援体制整備など、子どもの健康増進に向けた取組を進める。

子どもの年齢や保護者の就労形態等に柔軟に対応するため、様々な教育・保育ニーズに対応する必要なサービスの提供体制の確保を図る。

ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を支援する取組を進める。

経営者の意識改革や企業の子育てしやすい職場環境づくりを支援する取組を進め、仕事と子育ての両立支援環境の整備を図る。

子育て等に対する男性の意識改革を進める周知・啓発の実施やフォーラムを開催し、男性の子育て参加を促進する。

企業や団体等と連携した取組を進め、職場における女性の登用の拡大や女性が働きやすい職場環境づくりを促進する。また、子育て中の母親の就労や再就職を希望する女性を支援する。

基本目標

合計特殊出生率 1.6 を目指す

H27実績	1.46 (H26比: +0.03)	進捗率	17.6%
-------	--------------------	-----	-------

KPI計

設定 KPI	進捗率20%以上	9
14	進捗率20%未満	4
	その他	1

政策

H27 主な施策・事業

重要業績評価指標 (KPI) 状況

今後の取組方針

1 住みよい生活を支える地域づくり

誰もが住みやすい地域をつくるため、本県の豊かな自然を生かした環境整備やクリーンエネルギー等の導入を促進するとともに、公共交通の維持や道路等の交通インフラを整備し、地域間相互の交通の円滑化を図っていく。

- 生活排水処理施設の計画的な整備の推進
- NPO等が行う森づくり活動への支援
- 太陽光発電施設の適正導入に向けたガイドラインの策定
- 天然ガスコージェネレーションシステム導入可能性調査の実施
- 空き家対策市町村連絡調整会議の開催
- スマートハウス等の普及促進
- 道路ネットワークの整備推進
- バス・鉄道共通ICカードシステム導入支援

設定 KPI	6
--------	---

進捗率20%以上	2	住宅用太陽光発電(10kW未満)の導入出力量 バス輸送人員
進捗率20%未満	3	森づくり活動箇所 生活排水クリーン処理率 リニア駅からの30分到達圏人口カバー率
実績値未確定	1	天然ガスコージェネレーションシステムの発電容量

森づくりの取組、河川等の水質保全に向けた取組、産業廃棄物の適正処理推進などの取組を進め、豊かな自然を生かした住環境の形成を図る。
豊富な地域資源を活用したクリーンエネルギー等の導入を促進する。
空き家対策の推進やコンパクトシティの検討など集約化された便利で快適な地域拠点の形成に向けた取組を進める。
県内外との連携を強化する道路ネットワークの整備を引き続き推進する。
バス交通ネットワークの再編整備などを進め、公共交通ネットワークの利便性の向上を図る。

2 にぎわいを生み出す地域づくり

にぎわいを生み出す地域社会をつくるため、地域コミュニティの活性化を図っていく。また、中部横断自動車道の沿線地域の活性化を推進するとともに、リニア中央新幹線の開業効果が県内全域で享受できるよう地域整備の方針を検討していく。

- 地域全体で学校教育を支援する体制づくりの取組
- 商店街活力再生のための支援、空き店舗を活用した創業支援
- 買い物環境実態把握調査、買援隊の取組に対する補助制度創設
- リニア沿線市町の活性化に向けた取組の検討

設定 KPI	4
--------	---

進捗率20%以上	1	空き店舗を活用した新規創業数
進捗率20%未満	2	小中学校における学校応援団設置率 買援隊事業実施市町村数
KPI今後設定	1	「リニア環境未来都市」整備方針策定後設定

NPO等、地域の民間団体と県や市町村、企業等の多様な主体との協働を進めるなど、地域の課題を自主的に解決していく事業や活動を支援する。
空き店舗の活用、商店街の施設整備、商店街づくりをすすめる人材育成など市街地活力再生への取組を支援する。
リニア中央新幹線沿線地域活性化、中部横断自動車道沿線地域活性化の取組を支援する。

3 生涯健康で暮らせる地域づくり

生涯健康で暮らせる生活環境をつくるため、健康寿命の延伸に向けた取り組みを強化するとともに、医療体制の充実や地域全体が高齢者を支えるシステムを構築し、安心して生活できる社会を実現していく。

- 健やか山梨21に基づく取組の強化
- がんの予防、がんの早期発見に向けた啓発事業等の実施
- 慢性腎臓病(CKD)、肝炎等への対策強化・難病相談・支援
- 高度医療導入に向けた検討
- 地域医療構想(素案)の策定
- ことぶき勤学院の運営・ことぶきマスターの認定
- 障害者職業能力検定の実施、障害者の態様に応じた訓練の実施

設定 KPI	9
--------	---

進捗率20%以上	1	難病相談支援センター利用者
進捗率20%未満	5	がん年齢調整死亡率(75才未満) 肝炎ウイルス検査陽性者へのフォローアップ率 ことぶき勤学院在籍生徒充足率 ことぶきマスターの派遣件数 障害者の職業訓練による就職数
その他 (H31目標値が数値でない指標)	1	健康寿命の延伸
KPI今後設定	2	発達障害等に対する総合的な基本構想等の検討結果を踏まえ設定 地域医療構想の策定後設定

生活習慣病の発症予防・重症化予防、歯科疾患の予防や口腔機能の維持・向上などにより健康寿命の延伸を図る。
医療機関をはじめとした関係機関の連携体制強化による医療体制や在宅医療体制の充実を図るとともに、症状に応じた救急医療体制の確保を図る。
発達障害等の分野をはじめ先進的な高度医療の導入を検討するとともに、高度ながん医療の提供に向けて取組む。
高齢者への学習の場の提供や地域を支える活動への支援、就業機会の拡大や多様な就労に向けた支援を行う。
障害による学習及び生活上の困難克服による自立を支援するとともに、障害者の企業への円滑な就労を促進する。

4 安全・安心な地域づくり

安全・安心な地域をつくるため、災害に強い強靱な県土づくりを推進するとともに、今後起こりうる災害に備え、建築物等の耐震化や公共土木施設の耐震化・長寿命化等の推進により、総合的な防災・減災対策を進めていく。

- 山梨県強靱化計画、公共施設等総合管理計画の策定
- 住宅・建築物の耐震化を促進するための啓発活動の実施
- 長寿命化計画に基づく各施設の長寿命化事業の実施
- 地域防災リーダーの養成、自主防災組織等の活性化のための支援
- 本県独自の被災者生活再建支援制度の検討、実施
- 富士山山小屋へのヘルメット、ゴーグル、防塵マスクの配備支援

設定 KPI	8
--------	---

進捗率20%以上	3	住宅の耐震化率 山地災害危険箇所新規着手件数 防災に関する講座・講演会の参加者数
進捗率20%未満	4	緊急輸送道路における15m以上の橋梁と跨線橋・跨道橋の耐震化率 農業集落排水施設機能診断調査の実施率 治山施設補修済み箇所数 林道の橋梁・トンネル補修箇所
その他 (H31目標値が数値でない指標)	1	富士山を訪れる登山者や観光客等の安全性の向上

「山梨県強靱化計画」や「公共施設等総合管理計画」などを踏まえて、防災・減災対策を総合的に推進する。
地域防災体制を強化するため、防災拠点施設の補完施設の機能強化や実践的な防災訓練の実施、県民への情報発信を迅速かつ適切に行うとともに、県内被災者の生活の支援を図る。
富士山への来訪者の安全対策を推進するため、地元自治体による防炎用具の整備支援や、避難対策の充実、強化を図るとともに、前兆現象を早期に特定するため、監視体制の強化による富士山火山噴火対策を推進する。

基本目標

県民生活の満足度向上を目指す

KPI計

設定 KPI	27
進捗率20%以上	7
進捗率20%未満	14
その他	2
実績値未確定 KPI今後設定	4

H27
実績

- (H28より調査)

進捗率